

国保の審査委員会委員決まる

本年は診療報酬の審査を担当する国保(長野県国保連合会)と社保(支払基金長野支部)の審査委員会の委員がそれぞれ任期切れとなり、それに伴う委嘱がある。まず今月15日で任期切れの長野県国民健康保険診療報酬審査委員会の委員を国民健康保険法第88条2項に基づき16日付で阿部知事が委嘱した。

75人のうち新任は9人

長野県の国保診療報酬審査委員の定数は「保険医及び保険薬剤師代表」「保険者代表」「公益代表」の3区分各25人ずつの75人。氏名は右掲載の名簿参照。任期は平成29年1月15日までの2年間。新任は9名だが、委嘱替を除いた新任で見た場合、前回12人(医科8人、歯科4人)と多かったが、今回は7名(医科3名、歯科2名、薬2名)と少い。なお前々回は6名だった。

委嘱式で「公正厳正な審査」依頼

22日、県国保連合会のある長野市の長野県自治会館で審査委員会の日程にあわせる形で委嘱状交付式がおこなわれ、委嘱状は保険医・保険者・公益の3者の列ごとに並んだ代表区分ごとに各一人が代表する形で小林健康福祉部長より手渡された。

交付式での挨拶は県側が小林部長、国保連合会側は新井常務理事が羽田理事長(長和町町長)の挨拶を代読する形



県国保連合会の所在地、長野市内の県自治会館での委嘱状交付式

であったが、いずれも「忙しい業務の中で審査業務を担っていただくことへ敬意を表明、「公正、厳正な審査を」(県)、「審査業務の統一、充実を」(連合会) お願いしたいと結んだ。

国保58万7千人、後期高齢者32万人、1ヵ月150万件のレセプト審査となることが連合会側の挨拶の中にあった。

名簿公表は、吉村知事時代の末期に

は氏名と新再の区別のみで代表区分も示さない形に狭まったが、2001年の田中知事時代に氏名・科目・職名・委嘱区分・委嘱替の有無等も示す従来の一覧表に戻り、その後知事が代わっ

ても公表形態は踏襲されてきている。

一方、氏名のみ公表の支払基金は6月に5月末の任期切れに伴う委嘱がある。

国保の審査委員会を定めた法律 国民健康保険法

第88条 審査委員会は、都道府県知事が定めるそれぞれ同数の保険医及び保険薬剤師を代表する委員、保険者を代表する委員並びに公益を代表する委員をもって組織する。

2 委員は、都道府県知事が委嘱する。

3 前項の委嘱は、保険医及び保険薬剤師を代表する委員並びに保険者を代表する委員については、それぞれ関係団体の推薦によつて行わなければならない。

長野県国民健康保険診療報酬審査委員会委員名簿

(任期 平成27年1月16日～平成29年1月15日)

保険医及び保険薬剤師を代表する委員				
新再区分	標榜科	氏名	職名	医療従事地
再	眼	石原 淳	石原眼科医医院長	中野市
再	外	岡田 信夫	医療法人岡田外科医医院長	千曲市
再	内	木下 友順	木下クリニック院長	飯田市
再	内	倉沢 和成	諏訪形クリニック院長	上田市
再	外	小池 秀夫	相澤健康センターセンター長	松本市
再	精	小宮山 徳太郎	医療法人栗山会飯田病院副院長	飯田市
再	眼	佐藤 進	さとう眼科医医院長	下諏訪町
再	整	朱 尚孝	医療法人祐愛会祐愛病院院長	岡谷市
再	内	鈴木 陽一	医療法人社団温心会東和田病院理事長	長野市
再	精	関 健	長野県医師会副会長	松本市
再	産	高木 清	社会福祉法人博愛会高木クリニック理事長	長野市
再	小	中澤 良樹	なかざわ小児科医医院長	松本市
再	内	中島 貞男	飯田医師会副会長	下條村
再	内	平林 淳朗	平林医医院長	安曇野市
再	内	平山 二郎	市立岡谷病院院長	長野市
再	内	松尾 恭介	医療法人松尾医理理事長	飯田市
再	内	松林 祐司	天祐堂松林医医院長	筑北村
再	内	若林 正夫	社会福祉法人賛育会豊野病院院長	長野市
新	産	渡邊 智子	医療法人裕生会丸山産婦人科医医院副院長	長野市
再	歯	青森 則佳	八千穂青森歯科医医院長	佐久穂町
新	歯	轟 紀五	とどろき歯科医医院長	松本市
再	歯	永井 敏	ながい歯科医医院長	立科町
再	歯	堀内 雅彦	堀内歯科医医院長	長野市
再	歯	米山 繁樹	米山歯科医医院長	松川町
新	薬	伊藤 由美	吉田薬業(株)業務部長	長野市

保険者を代表する委員				
新再区分	標榜科	氏名	職名	医療従事地
再	眼	飯島 富士雄	長野県医師国民健康保険組合員	長野市
再	外	石橋 久夫	国保依田産科院参与	長和町
再	泌尿器	井上 善博	市立大町総合病院院長	大町市
再	外	大石 人司	飯綱町立飯綱病院副院長	飯綱町
再	外	金子 源吾	飯田市立病院院長	飯田市
再	外	久米田 茂喜	長野県立木曽病院勤務医	木曽町
再	内	栗田 純夫	軽井沢町国保軽井沢病院副院長	軽井沢町
再	外	河野 直子	長野県医師国民健康保険組合員	松本市
再	整	小島 隆史	長野県医師国民健康保険組合員	長野市
再	内	小林 正明	佐久穂町立千曲病院院長	佐久穂町
再	内・透	鈴木 都美雄	長野県医師国民健康保険組合員	長野市
再	外	高木 洋行	松本市立病院院長	松本市
再	脳外	竹前 紀樹	長野市民病院院長	長野市
再	内	徳竹 修一	長野県医師国民健康保険組合員	中野市
再	内	西井 裕	長野市民病院内分泌・代謝内科部長	長野市
再	内	野沢 敬一	長野県医師国民健康保険組合員	伊那市
再	皮	増田 光喜	長野県医師国民健康保険組合員	長野市
新	外	松崎 茂	長野県医師国民健康保険組合員	佐久市
再	内	柳澤 正志	長野県医師国民健康保険組合員	諏訪市
新	歯	青木 伸之	全国歯科医師国民健康保険組合員	長野市
再	歯	内山 英樹	全国歯科医師国民健康保険組合員	飯山市
新*	歯	関 勇治	全国歯科医師国民健康保険組合員	上田市
再	歯	藤森 伸也	全国歯科医師国民健康保険組合員	茅野市
再	歯	保科 学	全国歯科医師国民健康保険組合員	伊那市
新*	薬	石塚 豊	長野県国民健康保険団体連合会嘱託	小諸市

公益を代表する委員				
新再区分	標榜科	氏名	職名	医療従事地
再	小	天野 芳郎	長野赤十字病院第一小児科部長	長野市
再	内	井上 憲昭	厚生連富士見高原医療福祉センター富士見高原病院統括院長	富士見町
再	整	大内 悦雄	川西赤十字病院名誉院長	佐久市
再	泌	小宮山 斎	(独)国立病院機構まつもと医療センター松本病院 泌尿器科部長	松本市
再	内	神應 裕	特定非営利活動法人日本アクセス研究会評議員	松本市
再	内	高 昌星	信州大学医学部保健学科生体情報検査学領域教授	松本市
再	内	齊藤 博	長野県立須坂病院院長	須坂市
再	内	坂井 昭彦	松本市立病院名誉院長	松本市
再	内	酒井 龍一	諏訪赤十字病院救急部長	諏訪市
再	内	坂木 洋	長野県国保直診医師会顧問	上田市
再	整	澤海 明人	安曇野赤十字病院院長	安曇野市
新	耳	工 稜	信州大学医学部耳鼻咽喉科医学講座准教授	松本市
再	内	橋本 至永	上田市立塩田中学校学校医	上田市
再	外	濱口 實	組合立諏訪中央病院院長	茅野市
再	循	原田 順和	長野県立こども病院院長	安曇野市
再	内	古川 賢一	飯山赤十字病院院長	飯山市
再	脳外	外間 政信	厚生連篠ノ井総合病院副院長	長野市
再	耳	宮島 逸郎	日本耳鼻咽喉科学会長野県地方部会副会長	安曇野市
再	眼	宮島 洋一	長野県眼科医会理事	長野市
再	歯	笠原 悦男	松本歯科大学特任教授	塩尻市
再	歯	町田 良男	中野市立平野中学校学校歯科医、平野小学校学校歯科医	中野市
再	歯	丸山 慶四郎	安曇野市立徳高北小学校学校歯科医	安曇野市
再	歯	峯村 俊一	飯田市立病院歯科口腔外科部長	飯田市
新	薬	本保 武俊	長野県立松本美須ヶ丘高等学校学校薬剤師	松本市
再	薬	朝川 伊知郎	須坂市立東中学校学校薬剤師	須坂市

敬称略。「医療従事地」は本紙調べによる。新再区分の注:「新」は新任。「新*」は保険医・保険薬剤師からの委嘱替えによる。

飛翔会恒例の年末勉強会 実習は口腔ケアの歯磨き

「私たちは歯を抜きません」と歯を残す診療に取り組むグループ「飛翔会」(林春二会長)に集まる県内外6院所から44名が参加して、12月13日、9時半から1日かかりの勉強会が御代田町の保健センター会議室で開かれた。

午前中は代表林氏の「高齢者口腔内状況について」、宮入香歯科衛生士の「究極の口腔ケア」の2題を受けて、宮坂衛生士の指導で介護施設や在宅の訪問診療の現場で使用の歯ブラシ「ライオンERAC510ES」を使って参加者全員で口腔ケアの歯磨き実習に取り組

んだ。磨き方は歯と歯肉みがきで口腔内の臓器のつぼもマッサージするもの。同グループが別途実施のフィリピンでの歯科医療ボランティア活動にもちなんだネーミング「ハロアル磨き」として普及をはかっている。

午前中の最後に「それでもぬかないわけがある2014」(今西祐介氏)があり、午後は昼時間もランチョンセミナー形式で進められ、受付事務担当者



午前中の実習のもとになる演題発表の様子

の都合を優先テクニックではないスタッフと技術と経験歯根膜を残す正しいことは言っていく患者をよく知

に始まり歯科衛生士、歯科技工士等の各院所スタッフから院長や勤務の歯科医師まで、計27の演題が夕刻まで続いた。

全演題に林会長がコメント、患者に寄り添う 自分でなく相手



訪問歯科診療の現場で使用の歯ブラシを使い歯肉をみがく実習

連載の「全身疾患と歯科処方」冊子化

本紙で連載した有病者の「全身疾患と歯科処方」(原山周一郎著)を「有病者の疾患別処方を考える～全身疾患と歯科処方～」として冊子にまとめてあります。ホームページ上からPDFファイルをご利用ください。またプリントが必要な方は協会(電話026-226-0086)の歯科担当まで申し込み下さい。

飛翔会の連絡先 林歯科診療所(北佐久郡御代田町御代田2422-79 Tel.0267-32-3613 担当:佐藤節子)

「会員広報室」欄では、会員の院所での取り組みや地域での活動を紹介できます。投稿又は編集部への取材要請により紙面をまとめます。